

# 京都大学大学院薬学研究科学修要項

(薬学専攻)

(平成 27 年度以降入学者)

## 博 士 課 程

1. 博士（薬学）の学位を得ようとする者は、博士課程に4年以上在学して研究指導を受け、必修科目26単位、選択科目4単位、計30単位以上（別表1）を学修し、かつ独創的研究に基づく博士論文を提出し、所定の試験を受けなければならない。  
なお、学修・研究について著しい進展が認められる者は、審査を経て、在学期間を3年に短縮して学位を得ることができる。
2. 研究指導は、学生が専攻する分野を担当する教員が実施するものとする。
3. 概論と実験技術は必修であり、各科目半期2単位とする。研究特論は選択で、学生は希望する講義を受講することができる。ただし2科目4単位以上を履修しなければならない。  
なお、学生が指導教員の承認を得て、本研究科の他専攻の講義や、本学の他研究科の講義を受講し、その単位を修得した場合には、2科目4単位以内は博士課程修了に必要な研究特論の単位数のなかに含めて認定することができる。
4. 基礎演習は通年2単位、実習は通年1単位とし研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする。
5. 実験は通年4単位とし必修とする。
6. 成績評価は素点（100点満点）で行い、60点以上を合格とする。ただし、科目によっては、単に合格、不合格とする場合がある。

(別表1)

薬学研究科博士課程修得単位数表

科 目		必修科目	選択科目	計
講義	導入教育	概論	4	10
		実験技術	2	
	研究特論		4	
基礎演習		6		6
実 験		12		12
実 習		2		2
計		26	4	30

(別表2)

## 2026年度 薬学研究科博士課程科目配当表

(薬学専攻)

区 分	ナンバリング コード	科 目 名	単 位	開 講 年 度				備 考	
				2026年度		(2027年度)			
				前	後	前	後		
講義	研究導入 講義	GPHA1056001LJ86	臨床薬学概論	2	集中		集中		必修
		GPHA1056002LJ86	薬学研究概論	2	集中		集中		
	実験技術 研究特論	GPHA1056003LJ86	薬学実験技術	2	集中		集中		必修
		GPHA1066004LJ86	臨床薬学特論	2		2			2科目履修
		GPHA1066008LJ86	病院薬学特論	2				2	
		GPHA1066005LJ86	薬学研究特論Ⅰ	2		2		2	
		GPHA1066006LJ86	薬学研究特論Ⅱ	2	2		2		
		GPHA1066007LJ86	薬学研究特論Ⅲ	2		2		2	
		GPHA1066009LJ86	薬学研究特論Ⅳ	2		2			
		GPHA0061218LJ86	実践医薬品開発特論	2		集中		集中	
	橋渡し研究・臨床研究マネジメント	2		集中		集中	※他研究科科目		
演習	基礎演習	GPHA1076101SJ86	臨床薬学演習Ⅰ	2	2		2	研究指導を担当 する教員が専門 とするものを必 修とする	
		GPHA1076102SJ86	臨床薬学演習Ⅱ	2	2		2		
		GPHA1076103SJ86	臨床薬学演習Ⅲ	2	2		2		
		GPHA1076104SJ86	薬学研究演習Ⅰ	2	2		2		
		GPHA1076105SJ86	薬学研究演習Ⅱ	2	2		2		
		GPHA1076106SJ86	薬学研究演習Ⅲ	2	2		2		
実験		GPHA1076201EJ86	薬学研究実験Ⅰ	4	必修				
		GPHA1076202EJ86	薬学研究実験Ⅱ	4					
		GPHA1076203EJ86	薬学研究実験Ⅲ	4					
実習		GPHA1076301PJ86	臨床薬学実習Ⅰ	1	研究指導を担当する教員が専門と するものを必修とする				
		GPHA1076302PJ86	臨床薬学実習Ⅱ	1					
		GPHA1076303PJ86	薬学研究実習Ⅰ	1					
		GPHA1076304PJ86	薬学研究実習Ⅱ	1					

※開講年度欄の「集中」は集中講義、数字は毎週平均の授業時数を表す

# 大学院薬学研究科（薬学専攻） カリキュラムマップ

広い視野と教養、高度な基礎科学、医療薬学、臨床薬学領域を中心とした薬学の体系的・先端知識と技能を備え、その応用力を身につけている

薬学の深い学識に基づき、自由な発想力を創造的に展開して新たな知的価値を創出することができる

薬学の知識を総合して科学・技術・社会的課題に複数の解決策を提示でき、将来の課題にも柔軟かつ的確に対応できる高度な解決力を有している

高い倫理性をもって薬学の発展およびその臨床応用に寄与する行動を通して、人や自然との調和ある共存に貢献できる

薬学に関する研究成果を世界に向けて発信できる高いコミュニケーション能力を有している

※ 原則として4年以上在学して研究指導を受け、授業科目（講義、演習、実験、実習）を30単位以上修得し、かつ独創的な研究の成果を学術論文に発表し、これらを博士論文としてまとめ提出し、所定の試験に合格することが必要とされる



D4

## 博士論文研究

創薬や医療に貢献する専門的で独創的な研究を立案、計画、実践し、学術論文や学会発表を通じて社会に成果を発表し還元する

## 博士論文作成

当該分野における学術的意義、新規性と創造性、研究によってもたらされた知見の科学的検証または証明の妥当性などを有する博士論文をとりまとめて発表する。権威ある学術雑誌に査読付き原著論文を投稿できる段階まで研究を進めることが求められる

D3

### 研究特論

臨床薬学や薬学研究に関する専門知識や理論を身につける

臨床薬学 薬学研究  
特論 特論Ⅰ

病院薬学 薬学研究  
特論 特論Ⅱ

薬学研究 薬学研究  
特論Ⅳ 特論Ⅲ

### 演習

プレゼンテーション、論理的思考、問題解決能力を身につける

臨床薬学 薬学研究  
演習Ⅲ 演習Ⅲ

臨床薬学 薬学研究  
演習Ⅱ 演習Ⅱ

臨床薬学 薬学研究  
演習Ⅰ 演習Ⅰ

### 実験

研究立案、遂行、問題解決能力を身につける

薬学研究実験Ⅲ  
薬学研究実験Ⅱ  
薬学研究実験Ⅰ

### 実習

学習計画の立案能力や指導法を身につける

臨床薬学 薬学研究  
実習Ⅱ 実習Ⅱ

臨床薬学 薬学研究  
実習Ⅰ 実習Ⅰ

### 研究発表

研究成果を社会へ発信し還元する能力と態度を身につける

学術論文発表

国内/国際学会発表

D2

D1

## 自己開発プログラム

自らの職業人生を主体的に構想・設計し、国際社会で活躍できる能力を身につける

短期留学プログラム

国際交流シンポジウム

キャリア形成談話会

## 導入教育

臨床薬学あるいは薬学研究に関連する分野の現状を把握し、研究遂行に必要な基本的知識を身につける

臨床薬学概論

薬学研究概論

薬学実験技術



自然科学、生命科学、医療薬学に関する基本的な知識と技能